



ひっくり返るとこんな感じ

色んな色や絵柄に  
カスタマイズもできるよ！



# モマ笛絵付け講座

九州には、数多くの郷土玩具と民芸品があり、その背後には、それぞれの作品を育んだ土地や、文化があり、作り手があります。近いけれどあまり知らない土地を知り、その文化を通じて、日本人が大切にしてきた伝統やしきたりを学びます。今回は、福岡県津屋崎から「筑前津屋崎人形巧房」の七代目、原田誠さんを講師に招き、「モマ笛」の絵付け講座を体験していただきます。津屋崎ではその昔、「ふくろう」のことを「モマ」と呼び、先を見通す能力を持つ生き物として大事にされてきました。縁起物として古くから愛されて来た「モマ笛」を通じ、大分県の人々にも愛され存在する、民芸の歴史についても学びます。どなたでもご参加いただける初心者講座です。ふるってご参加ください。

[日時] 2017年9月9日(土) 14:00 - 16:00 [講師] 筑前津屋崎人形巧房・七代目 / 原田 誠

[募集期間] 友の会 / 8月15日(火) 10:00 - 8月22日(火) 17:00

一般 / 8月23日(水) 10:00 - 8月30日(水) 17:00

[場所] 平和市民公園能楽堂 [参加費] 1,620円(税込) [定員] 30名

[対象] 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

[持ち物] エプロン・タオル持参等、汚れても良い服装でお越し下さい。

参加者氏名・住所・電話番号(普段連絡が取れるもの)を能楽堂窓口・電話・Eメール・ファクスのいずれかの方法にてご連絡ください。8月31日以降のキャンセルは、キャンセル料を頂戴致します。ご了承下さい。

2017年 土曜日

9月9日

14:00 から 16:00



講師 | 原田 誠 HARADA Makoto  
筑前津屋崎人形巧房・七代目

## 筑前津屋崎人形巧房とは？

福岡県・福津市で人形製造・販売を続けている工房です。安永の頃(1777年)に近くで産出する良質の陶土を用いて、生活土器(雑器)を製作した事が始まりです。次第に素朴で温かみのある人形や動物を作るようになりました。人形は古博多人形の流れをくむ土人形で、原色を用いるのが特徴です。半永久的に使える1000種類以上の人形の型は、江戸時代から代々受け継がれ、今も作品を生み出しています。石膏型から人形を作り、窯で焼き、一つ一つ手作業で彩色しているため、色合いや模様の大さが異なります。通常、人形には膠(にかわ)と胡粉(ごふん:貝殻の粉)で彩色し、類のない独特の描彩と姿を持ち、他の人形に見出すことのできない素朴さと可愛さを持っています。この伝統を時流に失することなく保存し、日夜絶えざる努力と研究を重ねています。

www.tsuyazaki-ningyo.jp

お待ちしております！



Homepage



Facebook



Instagram



YouTube



平和市民公園能楽堂

電話：097-551-5511 FAX：097-551-5512

mail：info@nogaku.jp

月曜休館 / 月曜祝日の場合、翌日休館